

第2回定例会一般質問にて質疑

「これまでのコロナ対応の検証と総括」を求める

神奈川県議会議員 石川ひろのり

6月、県議会の一般質問で「新型コロナウイルス宿泊療養施設の検証と総括」などの質疑を行いました。新型コロナウイルス宿泊療養施設の検証と総括

6月、県議会の一般質問で約380億円が費やされ、当初は大規模ホテルを利用していましたが、効率的な活用が難しかった。知事からは、「当初は大規模ホテルで受け入れ確保したものの、その後、自宅に近い場所を望む声が多く、最大で県内13カ所に施設を開設し、延べ4万人の患者を受け入れたこと、希望する方々を概ね希望地域で受け入れたことから適切な運用であった」との答弁がなされました。

コロナ禍でも指摘を重ねており、その際は「入所要件を緩和し稼働率を上げたい」としていました。「一棟単位で借り上げたため」とした点については、ホテルを借り上げる際、一定程度の空室を設けて収容人数を算出しています。改めて、知事に関係事業者を含めた検証と総括を求めました。



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

私は「宿泊療養施設の低い稼働率」についてコ

石川ひろのり 事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044・455・6611
☎044・455・6614
石川ひろのり 秘書